

地域交流活動かわら版



<mark>あ</mark>なただけの"学びのかたち" 見つけてみませんか



本学では、一般市民の方にも、"学び直し"の機会として、以下の3つの学び方をご用意しています。それぞれ受講期間や開講時期が異なるため、詳細については地域交流課にお問い合わせください。

01

履修証明 プログラム

多彩な授業から イロイロ選べ る。

高齢社会における地域 活性化コーディネーター 養成プログラム 02

市民聴講生制度

学生向けの授業 で学生と一緒に 学べる。

三鷹市民聴講生制度

いちょう塾

03

連続講座/公開講演会

社会人向けの講座で大学の知に 触れる。

公開講演会



5~6月 <mark>公</mark>開講演会

右のQRコードから 年間スケジュールを 確認いただけます!



本学の特色を活かして、医療系・人文社会科学系 の講座を1日限定で開講しています。皆様のご参加 をお待ちしています。

参加費無料

講座により要申込

- ●5月12日(土) 13:30~15:00 井の頭キャンパス 乳がん検診の最新事情 ▷保健学部 森美加 助教
- ●5月19日(土) 14:00~16:00 三鷹キャンパス 高齢者のめまい・ふらつき・難聴について知ろう! -健康に生きるために ▷医学部 増田正次 講師
- ●5月26日(土) 10:30~12:00 三鷹キャンパス 脳卒中から身を守る一こんなに進んだ治療と予防 ▷医学部 平野照之 教授
- ●6月9日(土) 13:30~15:00 三鷹キャンパス心臓発作の救急対応一起こった時どうするか、起こらないようにするにはどうするか▷医学部 吉野秀朗 特任教授
- ●6月30日(土) 14:00~16:00 羽村市ゆとろぎ

ことばの能力~日本語再考

▷外国語学部 金田一秀穂 教授

要申込

※講座は変更になる可能性があります。

<mark>開</mark>講式が 執り行われました!



4月4日(水)、平成30年度 高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム(履修証明プログラム)の開講式が執り行われました。

本プログラムは、地域活動を行われている方や、今後さらに地域活動を深めたい、 広げたいと考えている方を対象に、地域振 興やコミュニティに関する基礎知識や高 齢社会における健康をめぐる諸問題につ いて学びます。

これから本プログラムの履修を通して、 地域活動に必要なファシリテーション能力や対人理解力、健康力アップ支援策を習得し、更なるスキルアップを目指して取り 組んでいきます。

1年生全員が学ぶ 「地域と大学」がスタート!

4月6日(金)、医学部・保健学部・総合政策学部・外国語 学部の4学部の1年生全員が学ぶ授業「地域と大学」が始ま りました。

本授業は2年次以降、自らの専門分野を学びつつ、その知識をもとに本学が連携している三鷹市、八王子市、羽村市などの自治体における地域課題に取り組んでいく前提として、地域における大学の役割、地域の諸課題、地域での学び方について、講義とグループワークを通して主体的に学びます。

第2回目の授業では、医学部・保健学部合同で三鷹市健康 福祉部保健医療担当部長の齋藤浩司氏から「三鷹市の健康福 祉施策について」お話を伺いました。また、総合政策学部・ 外国語学部は、両学部の先輩から、これまで取り組んできた 地域活動についての紹介や、地域活動を通して学んだことな どを新入生に伝えました。







外国語学部英語学科4年

清水 美来さん

「留学生の視点を地域の魅力化につなげる」



〇活動内容

中国・アメリカの留学生と一緒に、御岳山周辺 の魅力をさらに高めるため、実際にアクティビティ体験をして、改善案の提案を行いました。

〇活動を始めたきっかけ

きっかけはゼミ活動ですが、地元の活性化にも 興味があったため、地域の魅力に触れて、さらに その魅力を高める経験をしてみたいと思ったため 参加しました。

〇今後の展望

私自身、東京にこんなに緑があるとは知らなかったです。一般的な東京のイメージとは違う東京の一面を知ることができたので、これから海外の人にもその魅力を伝えていきたいです。

出会いをつなぎ、
さらに交流の輪を広げたい!



発表者 レポート 2 総合政策学部総合政策学科3年

林野 一成さん

「石巻で中高生が集う「場」をつくる」



〇活動内容

石巻で中高生向けの自習室開設にあたり、使用 ルールを一から考え、作りました。

○活動を通して学んだこと

ルール作りを行うにあたって、「そもそもルールとは何か」など、突き詰めて考える機会となりました。また、様々な人から意見をもらいながら進めていくことを通して、多様な価値観に触れることができたと同時に、その意見をまとめていく難しさを学びました。

地域での活動は、 ーから作っていく楽しさがある!



アトレヴィ三鷹 との連携事業

羽村市でのボランティア活動

八王子市での イベントスタッフ

地(知)の拠点

◀ 杏林大学 地域交流課 担当:中村